

小学校 低 学年＜ 2－（ 10 ）＞

学 年	2年	時 間	学級活動（帰りの会等短学活で） 「大雨だ！」2年②	時 期	6月～7月 または適時	時 数	20分～25分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 大雨がもたらす大規模な災害によって、自分の身の回りに起こる災害の危険を知る。 大雨災害から、自分の命を守るための方法を知り、安全に行動することができるようにする。 						
資 料・準 備	スライド(文科省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)低学年・気象災害「大雨だ！強風だ！かみなりだ！」)						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 大雨による気象災害の学習をすることを ◇まちに大雨がふったとき、どうしたらよいか学習 したことを思い出してみましょう。	○「大雨だ！」2年①で学習したことを思い出させる。
展 開	2 山の近くに大雨が降ったとき、どんな危険があるか、どのように身を守ればよいか考える。 スライド2-2-1を提示 ◇山の近くで激しい雨が降ってきたら、どんなことが起こりやすいと思いますか。班で話し合みましょう。 ◇班で話し合ったことを発表しましょう。 ・がけくずれ ・山崩れ ・道が通れなくなる スライド2-2-2を提示 ◇山の土が多く水分を含んでもろくなると、この絵のようなことが起こることもあります。 ◇それは、どのようなことが確かめてみましょう。 スライド2-2-3を提示 ◇けがをしないために自分だったらどうしますか。 <共通>・用がないのに外に出ない ・一緒にいる大人の指示に従う <山の近く>・がけや山肌など危ないところに近づかない スライド2-2-4を提示 3 大雨が上がったらどんな危険があるか考える。 スライド5-1を提示 ◇大雨が上がったら、どんなことが起こりやすいと思いますか。 ・川の水が増える・水が道に上がる・流れが急になる スライド5-2を提示 ◇これらの危険から身を守るにはどうすればいいでしょう。 ・雨上がりにも危険がいっぱいだから気を付ける	○学校や地域の場所が、「まち」の部分が多いか「山の近く」が多いかで①(2-9)と②(2-10)のどちらを先に扱うか決めるとよい。それにより、導入の扱い方と活動3を後の時間で扱うことが変わってくる。(多い方を先に扱う) ○場面絵から、危険な状況や場所を想像させる。 ○準備した白板(移動白板)か白模造紙(黒板に貼る)にスライドを映す。(書き込みが可能) ○危険なことについて班で話し合い、自分の考えと人の考えとを比べて意見を言うことができるようにする。 ○班代表で発表する児童には、前に出させて指示棒等で危険箇所をさし示して理由も発表させる。 ○児童がさし示した危険箇所に、丸印をつける。 ○スライドを見せて、主な危険を説明する。 場面は同じなので同じ白板か白模造紙に映す。 ○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方があるか意見を引き出すようにする。 ○何枚も後のスライドに飛ぶので、映像が映らないようにする。 ○身近な校区内の川の名前や場所を具体的に挙げて、イメージさせる。 ○危険な状況をイメージさせ、注意喚起する。 ☆話し合いを通して、予想される危険な事態について理解できたか。 ☆気象災害が身の回りで起こることを理解できたか。
ま と め	4 身を守るために大切なことを確認する。 ◇大雨のとき、また、雨が上がったとき、どのようなことが大切でしたか。	○激しい雨の場合に応じた対応を確認する。 ○気象の変化に気付いた場合は、安全に行動できるように指導する。 ☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	「大雨だ！」2年①
協 力 団 体	